

平成25年度 FDフォーラム

『学生による授業評価を活用した授業改善について』

○ FDフォーラムの概要

同題による報告は平成22年度に引き続き2回目である。今回は、学生による授業評価のうち数量的データの解析例と解析手法について報告した。今回は学生による授業評価アンケートのうち自由記述欄に注目し、その解析と自由記述欄と同様な数量的データではない情報をいかにして授業改善に結びつけるかについて報告を行った。

○ 授業評価アンケート自由記述の解析

自由記述の解析にはテキスト・マイニングの手法を用いた。ただし単なる形態素の抽出のみでは不十分であったため、係る語を一緒に取り出してそれらの結びつきを見る、係り受け解析を行った。特徴的な結果は全学的解析では得られず、学科ごとに解析することが重要であることがわかった。

表 アンケート自由記述、係り受け解析の結果

	設問1 学生の取り組み	設問2 講義、実験実習について
講義	健康：ノートに関連する記述が多い フード：「話+聞く」、ノート関連、出欠など メディア：出欠、「課題+取り組む」、ノート関連	健康：設問1のノートに関連する自らの取り組みに対応して、板書に関連する意見が多い。 フード：設問1の「話+聞く」に対応して、声やマイクに関連する意見。板書に関連する意見。 メディア：理解に関する意見が多い。「SA+人」が、特徴的。
実験実習	健康：積極性、レポート フード：積極性	健康：理解に関する意見

○ まとめと展望

本フォーラムで示した今回の自由記述の解析では、授業評価アンケートの結果を授業担当教員にフィードバックして作成される「総括と意見」のように、授業を担当する教員と受講した学生間の意見交換のみに留まらず、各学科に所属する学生が積極的に取り組んでいることや課題を把握し、いかに授業改善に繋げるかについて、一定の指標を示すことができた。

前期・後期の各期末に実施している学生による授業評価アンケートは、その授業を総括し、次年度の授業に向けた改善を見いだすために重要である。しかし、進行中の授業については有効でない。LMS（学習管理システム Learning Management System）を用いれば、授業評価アンケートの自由記述に相当する意見について、紙媒体や電子メールを用いるのに比べ、簡単、迅速、正確にかつ統合的に利用することが可能である。講義毎の感想は、次回の講義での改善に活用できることに加えて、講義全期間にわたる「講義の内容と感想」を俯瞰することにより、学生の学習状況と講義の学習効果を把握するためにも有用である。実際LMSを活用した講義では、授業評価アンケート自由記述にもLMS利用の成果が反映されていることが確認できた。自由記述の解析法の共有とともに、LMSの積極的な活用を提案してFDフォーラムでの報告を終えた。